

# 『こどもの里』のとくくみ

～館長 荘保共子さんに聞く



荘保 共子  
(しょうほ ともこ)

兵庫県宝塚市で育つ。  
1970年、教会の青年会活動の中で釜ヶ崎の子どもたちと出会う。  
77年、ミニ児童館「子どもの広場」を開設。  
80年、現在地に移設し「こどもの里」に改称。  
子どもの権利擁護に取り組む。  
2015年度より「NPO 法人こどもの里」理事長。



2018年2月25日(日)

和泉市立人権文化センター

1F 大会議室

14時～16時 (受付 13時30分～)

定員 50名  
(保育あり 先着6名)



【申し込み】2月5日(月)から  
人権文化センターまで 電話またはFAXで(詳細は裏面)

CAP いずみは、今年度で設立20周年を迎えます。

10月29日の「子どもの人権問題」連続企画〈2〉が、台風のため延期となりましたが、上記日程で、「こどもの里」開設者・館長の荘保共子さんをお迎えすることになりました。

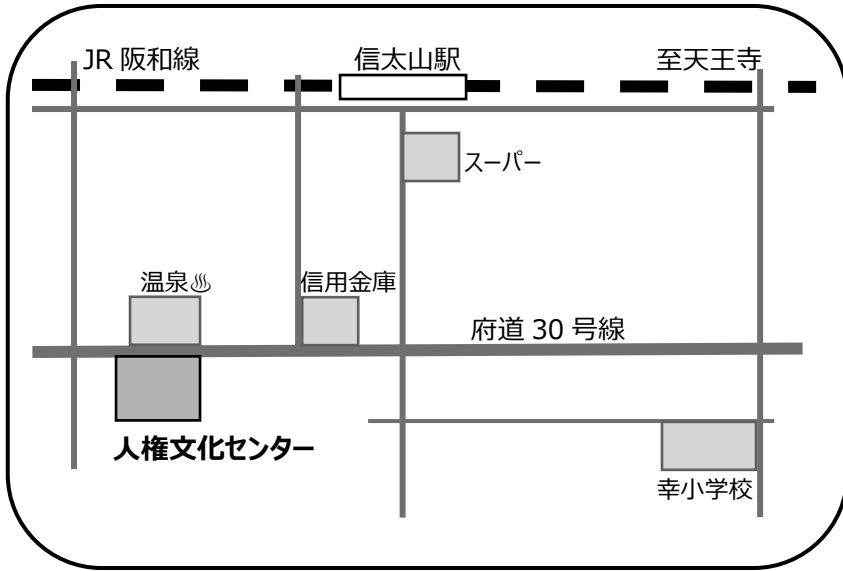
大きな二つの信念(子どもの最善の利益を考慮すること、子どもの自尊心を守り育てること)をもち、40年にわたり「日雇い労働者の街」と呼ばれてきた釜ヶ崎で、遊びと学び、生活の場である「こどもの里」で多くの子どもたちやその子どもたちを取り巻くおとなと関わってこられました。その豊かな経験からさまざまに語っていただきます。ぜひご参加ください。

主催 和泉市立人権文化センター  
企画運営 特定非営利活動法人CAPいずみー暴力防止・人権ネット



〈会場アクセス〉 **和泉市立人権文化センター**

和泉市伯太町6丁目1番20号  
JR 阪和線 信太山駅より 200m



キャップ  
**CAP**

Child Assault Prevention  
子どもへの暴力防止プログラム

子どもがいじめや誘拐、性暴力など様々な暴力から自分を守るための予防教育プログラムで、子どもがもつ「安心・自信・自由」の権利をキーワードに、ロールプレイ(役割劇)を通して、楽しみながら考え、話し合う参加型学習です。子どもワークショップでは、自分を大切な存在だと思いう感覚を育む種をまきます。

CAP いずみは泉州地域で幼稚園や小・中学校の、先生、保護者、子どもたちにCAPのプログラムをとどけています。

**お申し込み方法** ①または②のいずれかで和泉市立人権文化センターまで

- ① FAX 下記の申込書にご記入の上、0725-46-6532 まで FAX してください。
- ② 電話 0725-44-0030 まで 必ず「お名前」「電話番号」をお伝えください。

**お問い合わせは** 特定非営利活動法人 CAP いずみ-暴力防止・人権ネット 事務局 TEL **072-438-8548** へ

「子どもの人権問題」連続企画〈2〉 参加申し込み

申し込み日 月 日

お名前	ふりがな		
連絡先	TEL または FAX		
保育の利用	あり ・ なし (先着 6 名 保育申し込み〆切 2/16(金) 1 歳~就学前)		
「あり」の方	子どもの名前	ひらがなで	歳 か月 女・男
			障がいの有無
	子どもの名前	ひらがなで	歳 か月 女・男
			障がいの有無
* 保育利用にあたって 保険料 (一人 100 円) は実費負担です。			
* 保育申し込み後キャンセルされる場合は、すぐにご連絡ください。			